

大阪・関西万博具体化検討会 討議資料

澤田裕二
UG WORK 代表
20190125

○主な論点には解決すべき課題が示されているが、その具体化には抽象的な検討に留まらず、個別の具体的なアイデアやプランを作成し、検討する必要がある

○検討のポイントは以下の3点と思われる

① 多様で多数の「参加者」を作る

⇒人類の知恵を集めて、人類社会の未来を拓く事業とするため

⇒「なんのために」「どのように」参加するのかわかる計画が必要

* 博覧会の目的は、その立場によって異なる

② 多様で多数の「来場者」を作る

⇒よりよい社会に変革する事業

⇒社会を構成する市民が変わることで社会が変わる

⇒人類社会の未来を拓く知恵を多くの市民が共有する

⇒「理屈」ではなく「面白い」と興味喚起できる内容が必要

* リアルで限定的なふれあい、平和な雰囲気

③ 博覧会は「現代に何ができるか」を仮説する

・ 望ましい都市環境の提示

・ つなぎ直し 人と人、企業／団体と企業／団体、人と企業／団体

* 未来を作り出す「運動体」と捉え、プロセスを重視する